



「夕張メロード」

(夕張市産業課 山本さん)

Q. 建物や施設の特徴について説明をお願いします!

A. 道の駅「夕張メロード」は国道274号沿いの夕張市の南の玄関口にあり、JR新夕張駅とも隣接しているため、自動車だけでなく鉄道でのアクセスにも優れています。これまでJAスーパーの店舗として使用されていた建物を一部改装し、道の駅としてリニューアルオープンしました。こげ茶色の壁面にオレンジ色のロゴマークが目印です。施設内には農産物直売所やお土産コーナー、テイクアウトメニューを提供する屋外店舗などが併設され、夏の夕張メロンをはじめ秋の長いもなど、新鮮な地場産野菜や地域の特産品、ここでしか食べられない特別メニューを各種販売しています。

Q. 人気のレストランメニューやお土産は?

A. 夕張メロンソフトクリーム(300円)、夕張メロンバウムクーヘン(1,300円)は道の駅夕張メロードでしか買えない限定メニューです。ほかにも夕張バーガー(鹿肉や長いもを使用したご当地バーガー580円)、まんまるおからコロッケ(3個入り200円)、夕張メロンドーナツ(6個入り400円)など、盛りだくさんのご当地メニューをご用意しております。



農産物直売所

Q. 道の駅で開催しているイベントなどはありますか?

A. 10月下旬に開催される秋の夕張物産展「ゆうぱりマルシェ」です。今年は10/23(日)に開催しました。

Q. 周辺のお勧めスポットを教えてください!

A. ・滝の上公園:紅葉の名所として知られる公園です。公園内では千鳥ヶ滝や竜仙峡のダイナミックな姿や、大正14年の建設以来、現在も稼働している水力発電所の建物を見ることができます。
・石炭博物館:夕張市はかつて石炭によって栄え、11万人を超える人口を抱える道内有数の都市として発展しました。石炭博物館では、夕張を支えた石炭の歴史や当時の人々の生活について、本物の坑道に入るなどの体験をしながら学ぶことができます。



限定メニューのひとつ「夕張メロンバウムクーヘン」



「縄文ロマン南かやべ」

(函館市縄文文化交流センター副館長 猪木さん)

Q. 建物や施設の特徴について説明をお願いします!

A. 道の駅「縄文ロマン南かやべ」は鉄筋コンクリートを打ち放しにし、曲線を多用したユニークな外観を持ち、内装もコンクリートの打ち放しをうまく利用した非常にシックな作りになっています。南茅部地域は、函館市内においても所門遺跡が多数存在する地域で、今年の2月に国の史跡に指定された垣ノ島遺跡という当地域に数多くある縄文遺跡の中でも最大級の遺跡が隣接しています。



函館市縄文文化交流センター

また、道の駅には「函館市縄文文化交流センター」が併設されています。同センターは函館市内の縄文時代の遺跡から発掘された貴重な出土遺物を多数展示している博物館であり、1万年以上も栄えた縄文時代の人々の生活・精神を伝えています。数ある展示品の中でも最大の目玉は、北海道唯一の国宝「中空土偶」の常設展示です。また、ミニチュア土器づくりや縄文アクセサリづくりなど、気軽に縄文文化を体験できる体験メニューも用意しています。

Q. 人気のレストランメニューやお土産は?

A. 南茅部地域は昆布漁をはじめ漁業が盛んな地域であり、当施設の物販スペースにおいても、早煮昆布や水産加工品などの海の幸や、国宝「中空土偶」の顔を模したおにぎりが入っている「中空土偶弁当」や中空土偶の焼印が目印の「土偶ッキー」(クッキー)、栗をトッピングした「縄文アイス栗夢(クリーム)」などが人気です。
また、縄文文化交流センターでは、土偶の顔をしたピンバッチやストラップ等、おしゃれなミュージアムグッズも多数取り揃えております。



国宝「中空土偶」

Q. 周辺のお勧めスポットを教えてください!

A. ・史跡大船遺跡:復元された竪穴住居など、当時の生活環境を復元して展示しています。
・函館市南かやべ保養センター:含重曹食塩泉と(含硫黄ナトリウム硫化塩泉)の2種類の温泉が楽しめます。
・川汲公園:春は桜、秋は紅葉が楽しめる地元の人々の憩いの場です。



史跡大船遺跡

今回紹介した「道の駅」MAP

「夕張メロード」

夕張市紅葉山526-19



「おだいとう」

野付郡別海町尾岱沼5-27



●道の駅「おだいとう」

野付湾、野付半島をはじめとした貴重な風景を望む北海道内112番目の道の駅が別海町に誕生しました。展望室に昇れば北方四島のひとつ国後島も見え、冬にはすぐ近くの白鳥台付近に多くの白鳥たちが飛来。レストランでは「別海ジャンボホタテ」などの海の幸を使った別海ならではのメニューが楽しめます。知床あたりから道東をドライブする時の、最初のお休み処として利用してはいかがでしょうか。

(別海町産業振興部商工観光課 千葉さん)

●道の駅「夕張メロード」

夕張市はかつて石炭で栄えた炭鉱町です。その後、特産品として夕張メロンが開発され、当時の人々の努力によって全国ブランドに成長、今ではすっかりまちの代名詞となりました。その後、市の財政破綻は夕張市のイメージに暗い影を落としましたが、現在は日本一若い市長のもと、全力で地域の再生に向けて取り組んでいます。

そんな夕張の道の駅として、夕張メロードは北海道で111番目の道の駅としてオープンしました。施設では、夕張の魅力や旬の情報を、訪れてくださるみなさまに全力で発信していきます。道の駅夕張メロードをどうぞよろしくお願いいたします!

(夕張市産業課 山本さん)

●道の駅「縄文ロマン南かやべ」

オープンして間もない道の駅ですので、何かと準備不足の面もありますが、来ていただいたお客様にご迷惑をおかけする場面もごさいますが、皆様のご意見をうまくフィードバックしながら、多くの方々に愛される施設を目指していきたいと思っております。国内で唯一の「国宝のある「道の駅」」に是非お越しください。お待ちしております。

(函館市縄文文化交流センター副館長 猪木さん)

「縄文ロマン南かやべ」

函館市白尻町551-1



「北の交差点」
読者への
メッセージ